

10

湘南台地区构想

SHŌNANDAI AREA



現況と課題

1 現況

湘南台地区は1942年(昭和17年)に合併した旧六会村の北部域にあたり、昭和30年頃までは水田と畑、斜面林等といった農村でした。

高度成長期に入り、平坦な地形や地盤条件等からいすゞ自動車等の進出が相次いだことから、本市では職住一体のバランスのとれた総合的な地域開発に向け「北部工業開発計画」を策定し、昭和30年代後半から土地区画整理事業や湘南台駅開設等の都市整備を計画的に進め、駅を核とした良好な市街地が形成されています。引地川、境川沿いの一部を除き、地区の概ねにおいて面整備を行い、住宅地や産業地が創出されました。

1999年(平成11年)には、湘南台駅に横浜市高速鉄道1号線や相鉄いずみ野線が延伸し、鉄道3線が結節するほか、ツインライナー(連節バス)が発着する等交通ターミナルとして充実しており、居住者のほか、就業者、学生等駅を利用し訪れる人が非常に多くなっています。

湘南台地区は市民センターの開設とともに1989年(平成元年)に誕生した新しい地区ですが、本市北部の拠点として、商業・業務・サービス機能が集積するほか、湘南台文化センターや総合市民図書館等、本市の核となる文化施設が立地し、暮らしやすく、利便性が高い地区となっています。



2 都市づくり上の課題

- ◆湘南台駅は鉄道3線の交通結節点として、居住者をはじめ就業者、学生等延べ1日約16万人の乗降客の利用があるのに対し、駅周辺での賑わいが欠けています。乗換が行われる地下から地上へ回遊したくなる商業・サービス機能の集積や都市空間の形成等、都市拠点にふさわしい魅力と仕掛けが求められています。
- ◆公共交通が非常に充実しているという特性を、超高齢社会、低炭素社会において、今後も地区の強みとして十分に活用でき、また活力となることが重要となってきます。そのためには、湘南台駅を中心に、多くの人々が安心してアクセスできるような交通環境の形成とともに、相鉄いずみ野線延伸が期待されます。
- ◆西側の工業団地は、地区及び市全体の活力創出の一翼を担っている地域であり、今後も工業地として維持するためにも、操業環境の充実・向上に向けた取組が必要です。
- ◆地区の骨格として南北方向に流れる引地川と境川の間に住宅地や商業地等の市街地が挟まれています。自然環境の保全・活用とともに、都市空間と一体となった回遊性を持たせ、市民等が楽しむとともに、本市北部への観光・交流の契機となることが期待されます。
- ◆就業者や大学生等多くの若い世代が地区を訪れ、交流することが持続していくことは、持続的な都市活力の創出、都市空間形成において、貴重な資源であり財産です。今後のまちづくりにおいて、どのように活用するか検討が求められます。
- ◆今田遊水地や下土棚遊水地の整備後には、平常時の上部利活用が期待されます。



3 地区の指標

※グラフ中の数値は四捨五入を用いているため、合計が100%にならない場合があります

序章

第1章

第2章

第3章

第4章

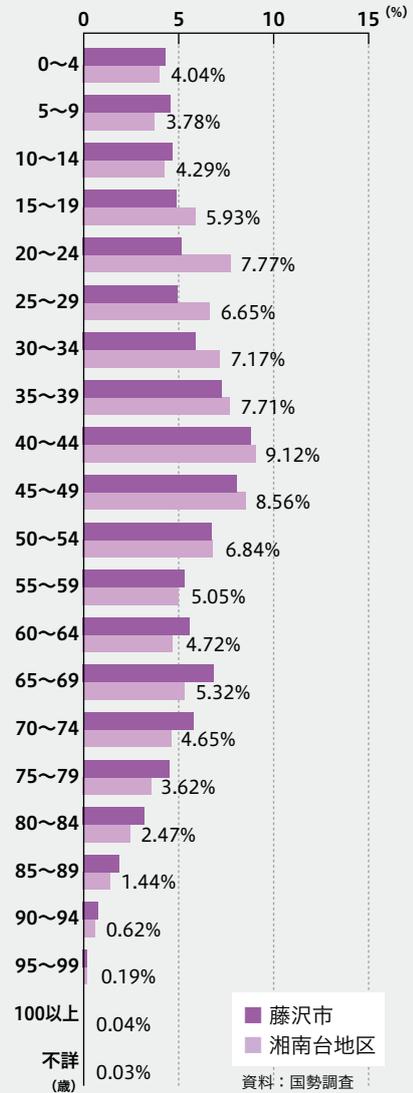
資料編

人口の状況

資料：国勢調査

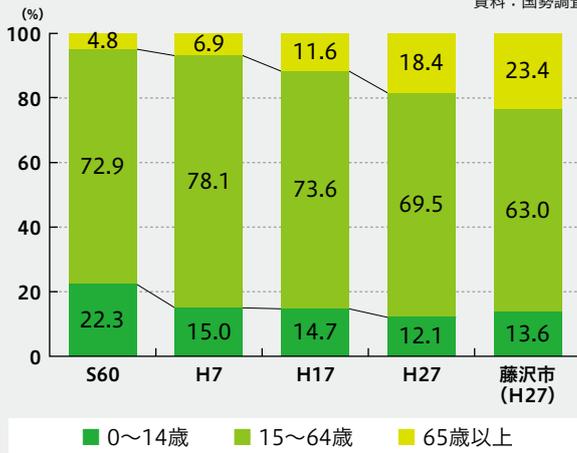
| | S60 | H7 | H17 | H27 |
|--------------------------|--------|--------|--------|--------|
| 全体(人) | 18,993 | 24,537 | 29,042 | 31,146 |
| 増加率(%) | | 29.2 | 18.4 | 7.2 |
| 人口密度(人/km ²) | 4,259 | 5,502 | 6,512 | 7,291 |
| 世帯数 | 7,082 | 10,771 | 13,341 | 14,972 |
| 増加率(%) | | 52.1 | 23.9 | 12.2 |
| 世帯規模(人) | 2.68 | 2.28 | 2.18 | 2.08 |

年齢別人口の構成(平成27年)



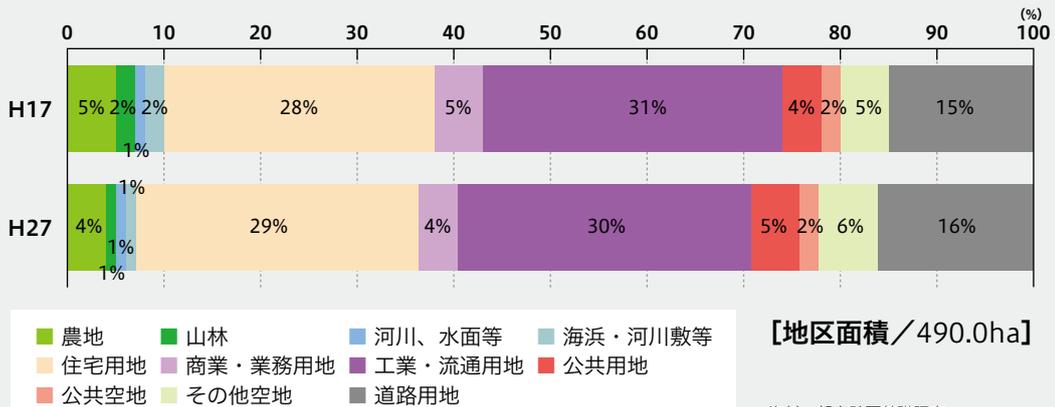
年齢三区区分構成比の推移

資料：国勢調査



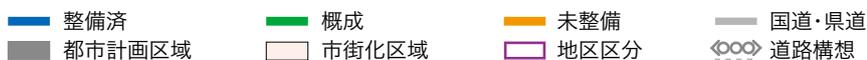
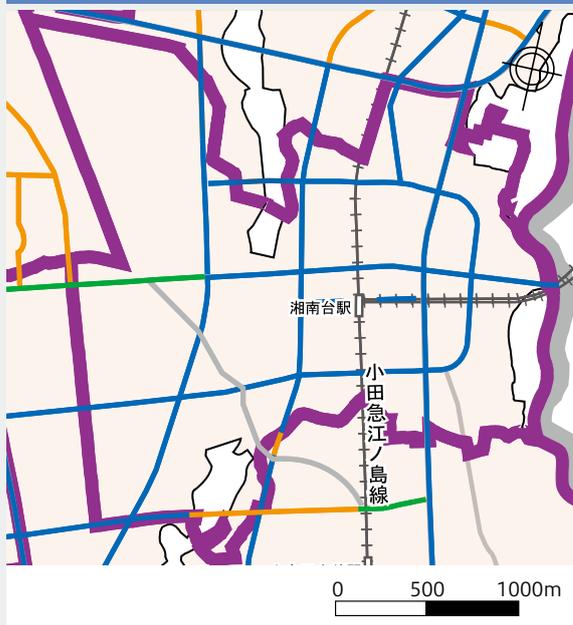
土地利用構成割合の推移

- ・工業・流通用地が最も多く、地区の特徴でもあります。次いで住宅地となっています。
- ・自然的土地利用は地区の1割程度となっています。
- ・平成17年から10年の間では、土地利用構成では大きな変化はありませんでした。



道路・鉄軌道の状況

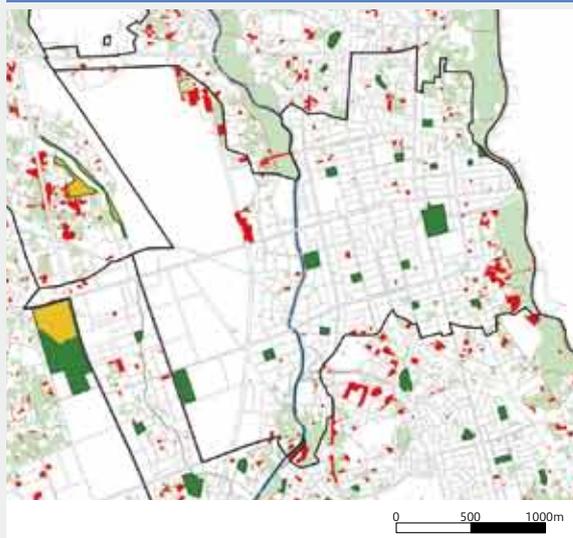
都市計画道路の進捗状況



- ・小田急江ノ島線と相鉄いずみ野線、横浜市営地下鉄の3線が乗り入れている湘南台駅が立地しています。
- ・地区の大半が土地区画整理事業区域に含まれており、都市計画道路の整備は概ね完了しています。
- ・土地区画整理事業により、高倉遠藤線の整備が進められています。

水・緑の状況

緑地減少の状況(H17→H27)



- ・地区の東側に境川、地区中央部に引地川が南北方向に流れています。地区内には、境川沿いに今田遊水地が整備されています。
- ・土地区画整理事業により、地区内の都市計画公園は整備を終えています。

*土地利用現況については、都市計画基礎調査の項目変更等により、実際の土地利用の変更の有無にかかわらず、土地利用転換があったものと見なされる場合があります。 資料：都市計画基礎調査

地区の将来像

川と緑に囲まれ、豊かな文化を育て、 みんなで創るまち湘南台

計画的に整備された市街地の中、地区の骨格である境川・引地川と湘南台駅を中心に地区全体の水と緑のネットワークを形成し、地区東西の一体感や都市的空間と自然的空間の連携・融合のもと、活力、やすらぎ、文化があふれる地区をめざします。

都市拠点である湘南台駅周辺を中心に地区全体の暮らしやすさを高めるとともに、交通ターミナル機能や、文化・交流機能を活かした質の高い都市空間形成を進めることで、地区の活力創出をめざします。

良好な街なみの維持・創出や様々な住民の主体的な取組とともに、地区で暮らし、交流する大学・事業所等とも連携しながら、地区の持つ文化・特性の充実・活用により、街の成熟化を図ります。

まちづくりの基本方針

土地利用

①湘南台駅周辺における賑わいと文化が集積し、魅力のある都市拠点形成の推進

- ◆地区の暮らしや北部工業団地や大学等を訪れる来街者の交流を支えるとともに、駅利用者が回遊したくなる商業サービス、文化、交流機能等の充実・更新と併せ、地下空間の活用等を促進します。
- ◆多世代に使いやすい交通ターミナル機能を充実します。
- ◆文化・交流拠点にふさわしい都市空間、街なみの形成を検討します。

②街の成熟化に併せた、安心して快適に暮らし続けられる住宅地づくり

- ◆土地区画整理事業により整備された住宅地では、良好な居住環境を維持・保全します。
- ◆市街地整備が遅れている地区では、生活道路の改良等居住環境の改善に努めます。
- ◆良好な居住環境の維持・改善に向け、住民主体のまちづくりのルール等を検討します。
- ◆災害時や緊急時に備えるため、狭隘道路の解消や行き止まり道路を増やさない、ブロック塀の改修等、安全・安心の向上を図ります。

③工業系産業機能の維持・充実の促進

- ◆北部工業団地では、産業振興策と連携しつつ、工業系産業機能の維持・充実を促進します。

交通

①安全で快適に移動できる交通環境づくり

- ◆交通利便性の向上や事故防止、渋滞解消に向け、公共交通の強化や道路整備、交通管理、横浜市域との円滑な連携に向けた検討等、総合的な交通対策を推進します。
- ◆湘南台駅周辺を中心に歩行者や自転車等が、安全で快適にアクセスできる環境形成の検討を進めます。
- ◆湘南台駅周辺から引地川緑道や境川サイクリングロード等へ、楽しみながら快適に回遊できるネットワークを検討します。

②幹線道路の交通混雑を軽減する道路整備の推進

- ◆国道467号や高倉遠藤線等の幹線道路の交通混雑を軽減し、地区内の円滑な交通環境づくりにつながる未整備の都市計画道路の整備を推進します。

③相鉄いずみ野線の延伸促進

- ◆健康と文化の森、さらには東海道新幹線新駅との連携を視野に、湘南台駅の広域交通網の結節性の向上に向け、湘南台駅から西側への相鉄いずみ野線の延伸を促進します。

水・緑

①引地川・境川を軸とした水と緑のネットワークづくり

- ◆引地川や境川を中心に、斜面緑地の保全や市街地内の緑化等を進め、水と緑のネットワークの維持・充実を図ります。
- ◆今田遊水地は、防災機能とともに、平常時における市民の憩いの場として、また自然学習の場として整備を促進します。

②地区の身近な憩い・交流の場として公園・広場の充実

- ◆住民主体による公園の維持管理を促進するとともに、明るく見通しの良い公園・広場の充実に努めます。
- ◆引地川緑道の北側への延伸をめざした計画を検討します。

景観・防災・都市づくり等

①湘南台駅周辺における魅力的な都市空間形成の促進

- ◆湘南台駅周辺のまちづくりとの連携を図りながら、文化・交流拠点にふさわしい景観形成を図ります。

②今田遊水地と下土棚遊水地の整備促進

- ◆水害から暮らしを守るとともに自然とふれあうことができる水辺として、今田遊水地や下土棚遊水地の整備を促進します。

湘南台地区将来構想図

序章

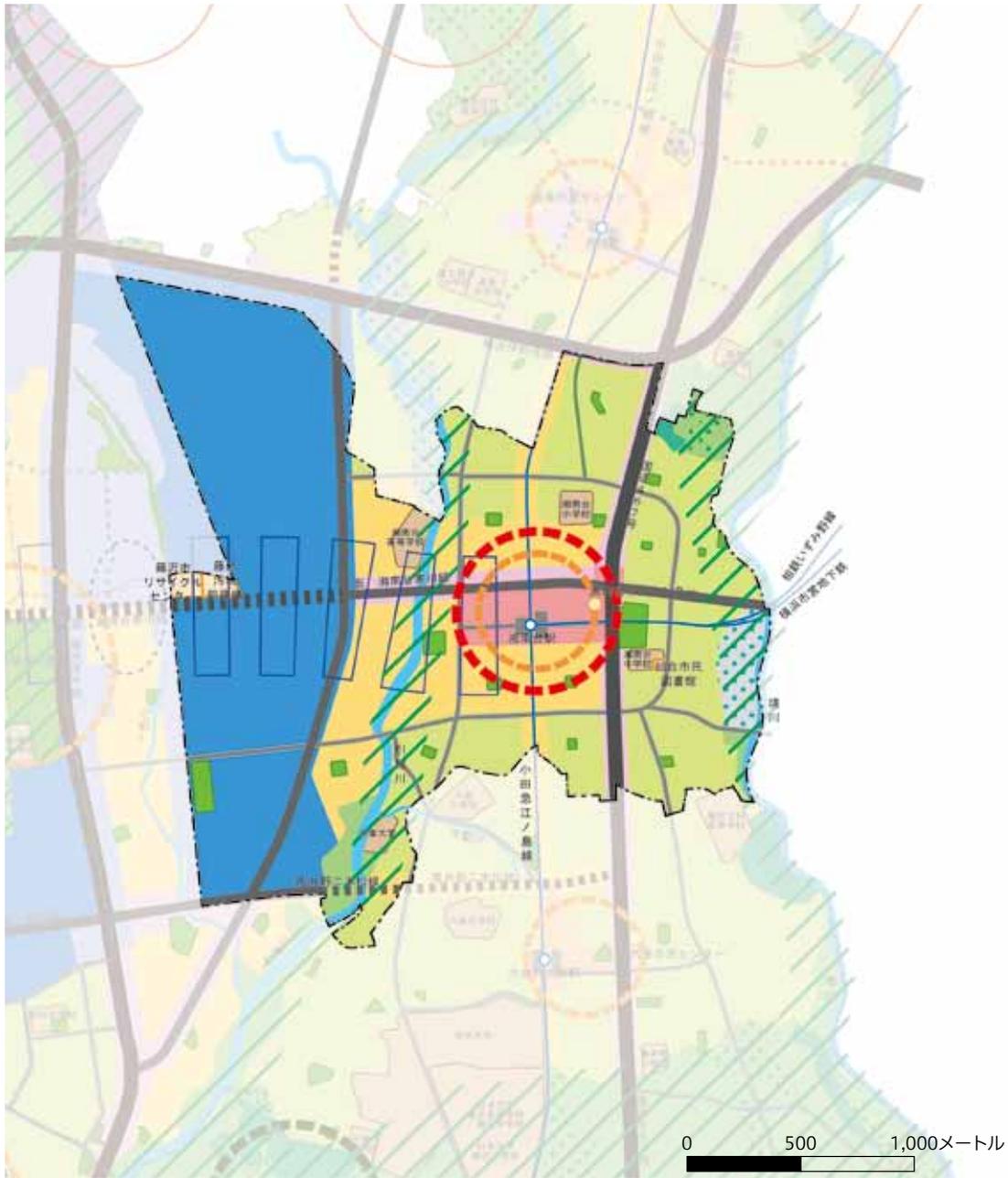
第1章

第2章

第3章

第4章

資料編



| | | | | | |
|--|--------------------------|--|-------------|--|---------------|
| | 都市拠点 | | 鉄(軌)道 | | 低層住宅専用ゾーン |
| | 地区拠点 | | 自動車専用道路 | | 中高層住宅専用ゾーン |
| | 緑の保全拠点 | | 主要幹線道路 | | 一般住宅ゾーン |
| | 都市農業交流拠点 | | 幹線道路 | | 集落地ゾーン |
| | 市街地検討エリア | | 補助幹線道路 | | 田園ゾーン |
| | 13地区 | | 歩行者自転車専用道路 | | 緑地等ゾーン |
| | 公共施設 | | (実線:整備済) | | 遊水地ゾーン |
| | 学校(小、中、高、大学) | | (点線:未整備・概整) | | 文化・教育・公共施設ゾーン |
| | 港湾 | | (円:構想) | | 商業・業務ゾーン |
| | 水と緑のネットワーク | | 新たな公共交通(構想) | | 地域型商業ゾーン |
| | 都市計画公園 (整備済(一部整備済含む)) | | 海上交通 | | 沿道型商業ゾーン |
| | 都市計画公園(未整備) | | | | 工業住宅複合ゾーン |
| | | | | | 工業ゾーン |
| | | | | | 新産業ゾーン |